

平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	10	予算小事業コード	5	事業名	たかつ区健康福祉まつり事業		
事業所管課	地域保健福祉課			担当者	宮下・阿久津	連絡先	044-861-3303
関係局(局区連携事業は記載)							

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	少子・高齢化社会を迎え、高齢者の健康維持や社会参加はますます大きな社会問題になっており、福祉社会の構築は、障害者の自立などと併せて地域ぐるみで考えることが求められている。
事業概要	高齢者や子ども、心身障害者の方々を含め、地域で暮らす多くの区民がふれあい、交流を深め、健康と福祉を共に考える場を提供し、地域福祉を推進することを目的とする。実行委員会に委託して福祉施設の自主製品の販売、健康相談等各種催し物を実施する。

3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	1,095,000	決算額	1,024,092	不用額	70,908	
不用の理由	謝礼金及び開催日を日曜日から土曜日に変更したことにより、前日準備の会場使用料に差金が生じたため					
事業目標	子どもや高齢者及び心身に障害がある方などが、多くの区民と触れ合い、交流を深めることで、健康と高齢者問題や地域福祉を共に考える場を設けることにより明るい福祉社会を目指す。					
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉施設自主製品の販売 ○参加団体の活動の紹介 ○健康相談などの各種催し物の展開 					
事業目標を達成する上での課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○効果的な広報による来場者の拡大 ○展示内容の充実 					
実績	「たかつ区健康福祉まつり実行委員会」に委託し、平成25年7月13日(土)10時から15時、てくのかわさきで開催。来場者数1,500人。今年度も昨年同様、東日本大震災復興支援として東北地方の物産販売(利益は日赤に募金)と募金を実施(売上額¥371,000、利益額¥41,382、募金額¥2,298、合計募金額¥43,680)。					
協働の視点	高津区で活動している福祉団体や活動団体とともに「まつり」の企画・運営をし、その経験や知識を健康福祉まつりに取り入れた。					
環境配慮への視点	二酸化炭素排出量削減のために冷房を使用せず(救護室等を除く)、来場者にうちわを配布し、節電を実施した。ごみの持ち帰りを呼びかけ、ごみの削減を図った。					
取組の成果	実行委員会を中心にまつりの企画を検討し、昨年度から提携した藤子・F・不二雄ミュージアムと今年度から新たに提携したミュージアム川崎、岡本太郎美術館と連携した取組(集客数の向上を図るため、連携先でのイベント周知や来場者プレゼントの提供等)のほか、東日本大震災復興支援として東北地方の物産販売を昨年に引き続き実施した。各団体同士の繋がりを広げることができ、参加者にまつりを通して幅広く健康や福祉に関する意識啓発をすることができた。また、小学生の合唱や子どものフラダンス、かき氷を企画に取り入れることにより、子どもや親子連れなど、若い世代の参加者が増加した。				達成度	3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	健康への意識の向上、福祉への理解、健康福祉関連団体のネットワークの充実のために、引き続き、参加団体で構成される企画部会で検討を重ね、健康と福祉を共に考える場を提供し、意識啓発や参加団体間の交流の更なる充実を目指す。協働して実施することの理解を深め、皆がまつりの目標を共有し共に作りあげる事を目指し、まつりをさらに充実させていく。 東日本大震災被災地復興支援についても、引き続き検討していく。

平成25年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	10	予算小事業コード	15	事業名	高津公園体操推進事業		
事業所管課	地域保健福祉課			担当者	若尾・仲藤	連絡先	(861) 3313
関係局(局区連携事業は記載)							

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	高津区在住で介護保険の要支援・要介護認定を受けている高齢者は、平成13年2036人から平成25年4月1日には5886人(全高齢者に対する割合は16.99%)と急増している。そのため、社会的には介護保険給付費や医療費の増加、高齢者のQOL(生活の質)の低下が大きな問題となっている。また、高齢者の1割が閉じこもりといわれており、要介護の発生危険度が高いとされている。介護予防や生活習慣病予防のためには、継続した運動が欠かせないが、健康維持のための意識的な運動を習慣的にしている者は高津区で28.1%(平成13年度川崎市健康意識実態調査)と低い。さらに高津区は転入者が多く、単身者も増えているため、近所づきあいが希薄になりがちである。運動習慣を向上させるためにも、住民同士が交流しながら気軽に運動が出来る環境整備が必要である。
事業概要	「高津公園体操」は、寝たきりになる原因である、「生活習慣病」「転倒・骨折」予防のためにつくられた15分間の体操。運動の3大要素の「有酸素運動」「筋力トレーニング」「柔軟運動」が組み込まれている。軽快な音楽とテープの声に合わせて、運動が苦手な方を含め、若い方から高齢の方にも無理なく気軽に行える。 ①普及啓発(新たに始めたい方や既に取り組んでいる方への講演会等の実施、CD・カセットテープ・DVDの委託販売、ガイドマップの作成・配布)、②新たな公園体操立ち上げのための研修会の実施、③リーダー交流会の実施、④保健師によるグループフォローアップ等

3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	581,000	決算額	411,480	不用額	169,520
不用の理由	新たな公園体操が立ち上がらなかったため「立ち上げのための研修会」の講師報償費が不要になった。「普及啓発講演会」と「フォロー教室」を一体化した「高津公園体操教室」を、高津区全地域を対象に1か所で開催したため、1回分の講師報償費が不要になった。				
事業目標	「高津公園体操」に取り組むグループを支援し活動継続を維持することや、新たな立ち上げを希望する地域(グループ)を増やすことで要介護者の増加を抑制することを目標とする。また、取り組むことで「閉じこもり予防」「見守り活動」も含めた各地域のコミュニティの活性化を目指す。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	①普及啓発(新たに始めたい方や既に取り組んでいる方への講演会等の実施、CD・カセットテープ・DVDの委託販売、ガイドマップの作成・配布)、②新たな公園体操立ち上げのための研修会の実施、③リーダー交流会の実施、④保健師によるグループフォローアップ等				
事業目標を達成する上での課題等	各公園体操グループの活動が継続維持されるよう、各地域を担当する保健師と地域包括支援センターによる支援を適切に行っていくことが必要。				
実績	①たかつ健康福祉まつり及び高津区健康づくりのつどい等のイベントで普及啓発。②高津公園体操教室の開催(新たに始めたい方や既に取り組んでいる方へのフォローのための教室:平成26年1月30日/101名参加)。③リーダー交流会の開催(平成26年3月10日/20名参加)。④CD・カセットテープ・DVDの委託販売(川崎市職員生協)実施(平成26年2月末まで、CD9枚・カセット9個・DVD7枚の販売)。⑤ガイドマップの作成(3,000部)。⑥いこい元気広場で広報(7か所を3か月毎に周知)				
協働の視点	ヘルスパートナー高津や区内の地域包括支援センターと協働して地域へ普及啓発活動をしている。公園での高津公園体操の実践に関しては、町会や老人会と協働して行っている。また、昨年に引き続き、高津警察署と連携し、地域の防犯や交通安全普及啓発に関する講話を高津公園体操の場で行うことに協力した。				
環境配慮への視点	ゴミは持ち帰るよう指導している。公園体操実施前後において、参加者が自主的に公園の清掃活動を実施している。				
取組の成果	各種イベントでの普及啓発活動や、新たに始めたい方や既に取り組んでいる方へのフォローのための教室である「高津公園体操教室」及び継続支援のための「リーダー交流会」を実施し、また、日頃から地域を担当する保健師がグループ活動の支援を行い、今年度も30か所全てのグループが高津公園体操の活動を継続することができた。実施公園は、気軽に参加できる範囲を500メートル圏とするとほぼ区内をカバーできる段階になっている。				達成度
					3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	来年度以降も、普及啓発活動、新たに始めたい方や既に取り組んでいる方へのフォローのための教室及びリーダー交流会の開催、日頃からの地区担当保健師による活動支援を行い、既存の30か所の高津公園体操の継続支援を適切に行っていく。また、今後も新規立ち上げの希望に応じ、適切な支援を実施していく。